

泉佐野丘陵緑地のホタル調査結果および活用について

- **ホタル学習会の実施** : 平成 28 年 4 月 27 日 (水) パークセンター研修室
 講師 : 大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科 環境動物昆虫学研究グループ 平井准教授
 内容 : 座学 … ホタルの種類、見分け方、生態、成虫や幼虫の調査方法の事例等
 現地 … 天神川周辺の状況の現地確認

ホタル調査については、一番発生が早いヒメボタルの発生状況に合わせて調査日を設定する
 パーククラブ有志による調査

～平成 28 年 5 月 11 日 (水) 園内でヒメボタルの発生を確認～
平井先生の研究室学生が研究テーマとしてホタル調査についてパーククラブと連携協力

■ ホタル調査の実施

【予備調査】平成 28 年 5 月 18 日 (水) 20 時～
 園内のホタルの状況を平井先生と事前調査

【第 1 回目】平成 28 年 5 月 20 日 (金) 19 時 30 分～
 説明 : 平井先生から調査方法について説明

※環境省生物多様性センターの「モニタリングサイト 1000 里地調査マニュアル」を参考

調査 : 4 班に分かれてホタルの一斉調査を実施

I 水辺広場周辺、II レンジャー棚田周辺、III 天神川周辺、IV 未開設区域周辺

【第 2 回目】平成 28 年 5 月 27 日 (金) 19 時 30 分～
 調査 : 全員で天神川周辺を中心にホタルの調査を実施

【第 3 回目】平成 28 年 6 月 3 日 (金) 19 時 30 分～

調査 : 全員で天神川周辺を調査したあと、3 班に分かれて園内全域のホタルの調査を実施

【第 4 回目 : パーククラブ最終調査】平成 28 年 6 月 10 日 (金) 19 時 30 分～

【第 5 回目 : 府大の研究調査 (パーククラブ有志協力)】平成 28 年 6 月 17 日 (金)

【第 6 回目 : 府大の研究調査 (パーククラブ有志協力)】平成 28 年 6 月 24 日 (金)

※第 6 回目以降ビオトープ池のみ継続して府が調査実施 (7 月 1 日調査終了)



■ 今後の展開(案)

【調査】

★ 今後も、園内全域の継続調査を行っていく

→ 天神川沿いには園路がなく、調査用のルート確保が必要。

★ 秋～冬にかけて、ゲンジボタルの幼虫の生息数調査も行っていく

【利用】

★★ ホタルを公園の魅力の 1 つとして発信していく



★ (来園者の安全対策や不法駐車等の対策を考慮してから) 一般来園者を対象とした「ホタル観賞会」を大阪府・パーククラブが連携したイベントとして行いたい

→ 園内には照明や転落防止柵が少ないため、夜間に園内を自由に散策してもらう鑑賞会はできない。

⇒ 日時・区域を限定した鑑賞会の実施を検討していきたい

(案) 臨時駐車場内にて鑑賞会 (車は中央入口より入れ、園内リーディング区域に駐車)


※具体的な内容は今後検討

★ 幼虫や餌の貝等の調査も含めて近隣小中学校等の環境学習の場として活用したい

→ 環境学習への展開をするためには

ゲンジボタルについては天神川に降りるルートの確保が必要な可能性あり

(今冬に幼虫の生息数調査を実施した後に検討)

 天神川流域のゾーンについて、どういった利用をしていくかの検討が必要

天神川流域の活用について

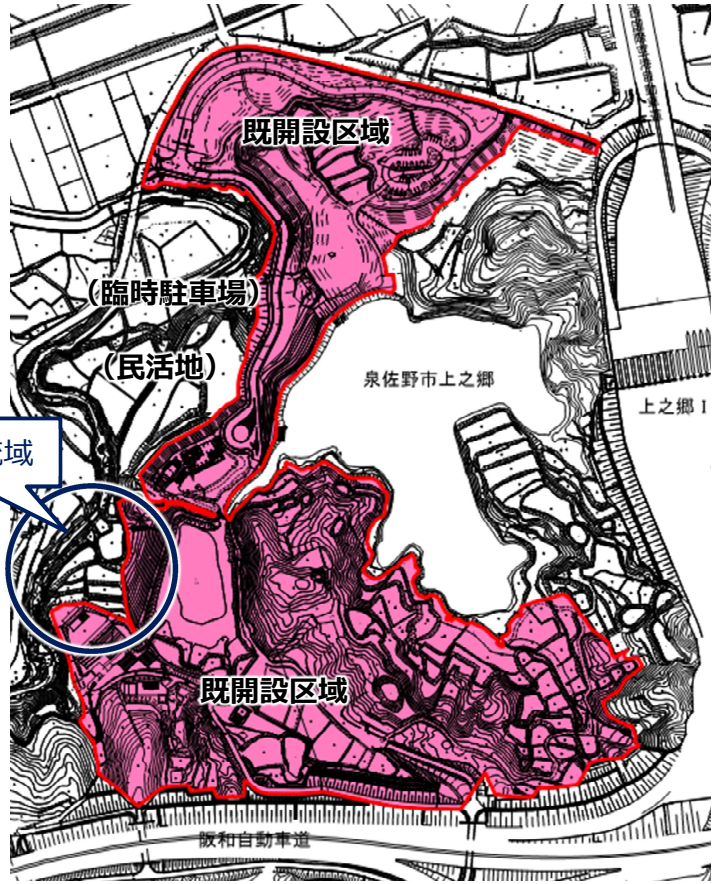
■天神川流域ゾーン

既開設区域の谷口池・苗圃と天神川に囲まれたゾーン

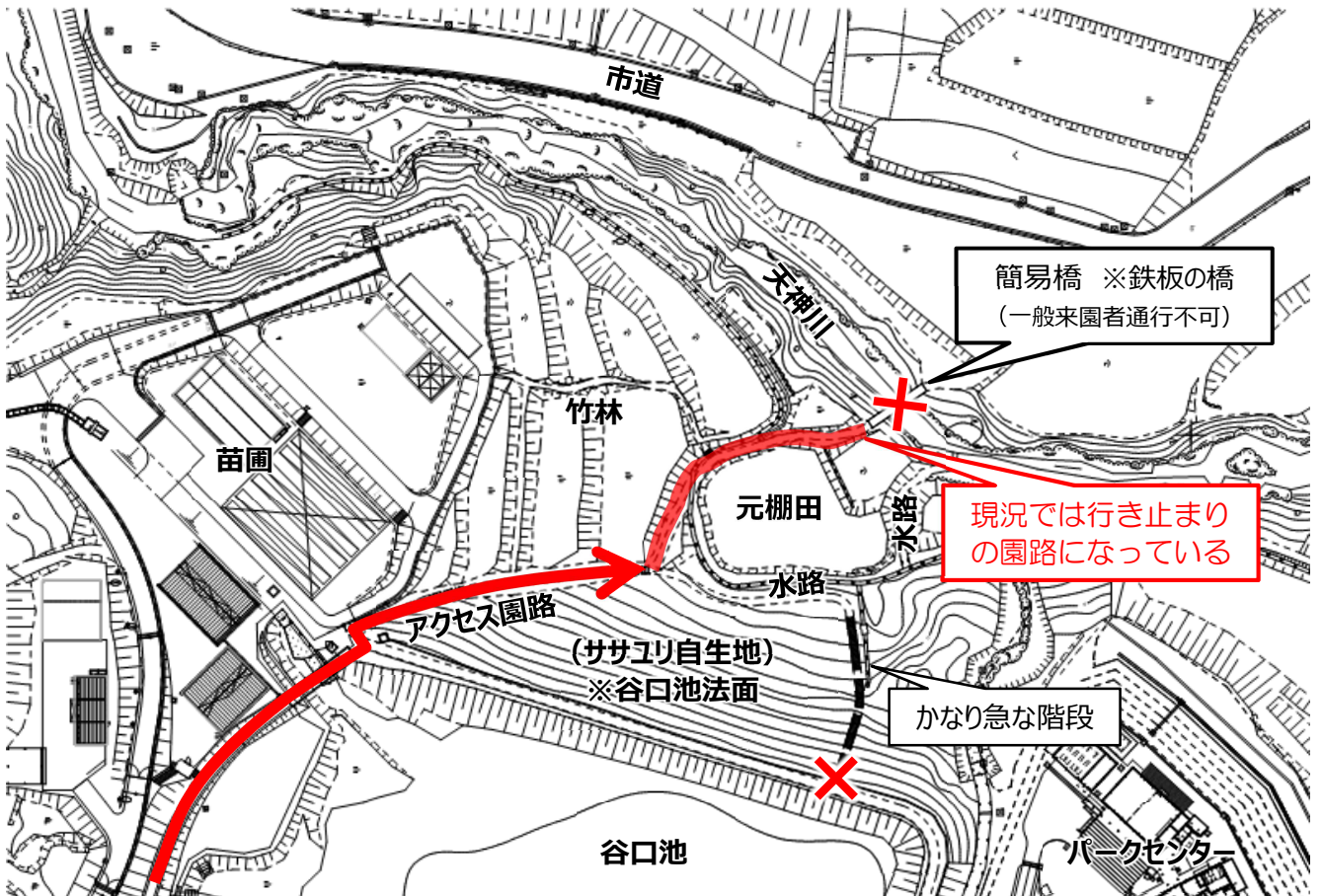
■区域の特性

☆天神川の川音、風情を楽しめる
(天神川に降りることも可能)
公園内で天神川に隣接している区域は臨時駐車場と本区域のみ。

☆ゲンジボタルを観測できる
(ゲンジボタルの観察拠点にできる)



■区域現況図



■ 現況写真



① パーククラブで整備した園路



② 元棚田は竹林が拡大し、荒れた状態
(10年程度前に伐採した竹が放置されている)



③ 元棚田 (2の下の段)



④ 広場 (元棚田。現在、作業時の休憩スペースとして利用)



⑤ 眺望ポイント



⑥ 比較的子どもでも川に降りられそう



⑦ 橋は一般来園者通行不可

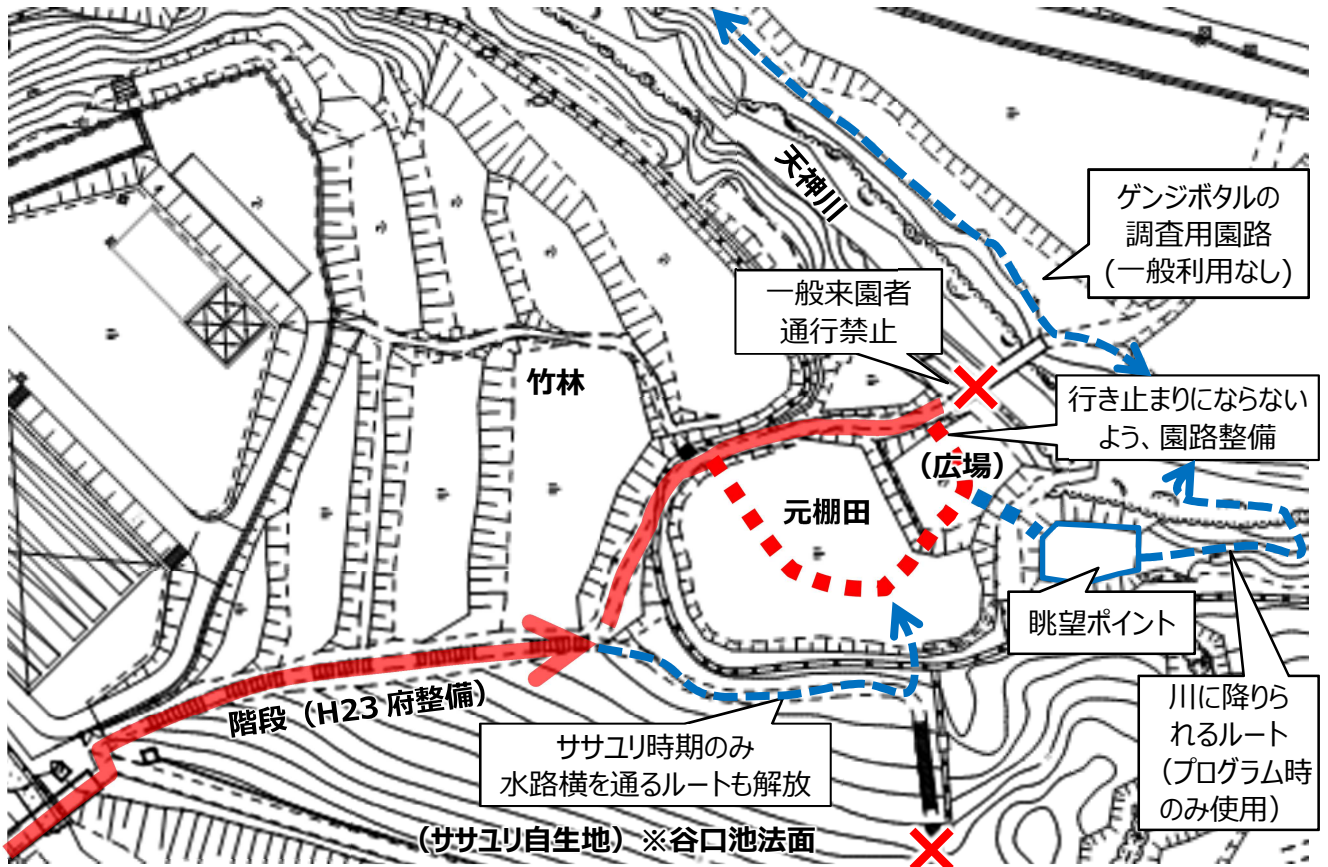
■当該区域の利用イメージ（コンセプト案）

川(音・景色・いきもの)を楽しむ & ゲンジボタルの継続調査 ゾーン

- ※具体的な利用内容（イメージ）
- (6月) ササユリ鑑賞
 - (夏) ホタル調査 + 川(音・景色)で涼む
+ 川のいきもの調査
 - (秋～冬) ホタル幼虫調査

■動線計画（案）

- 園路等整備後、当面の間は、**プログラム時のみ一般来園者も利用できる区域**とする
(ササユリ鑑賞時期、ホタル調査時期、川の生き物調査等のプログラム時期)
- 園路整備はパーククラブのチーム活動と大阪府との協働作業で整備（予定）

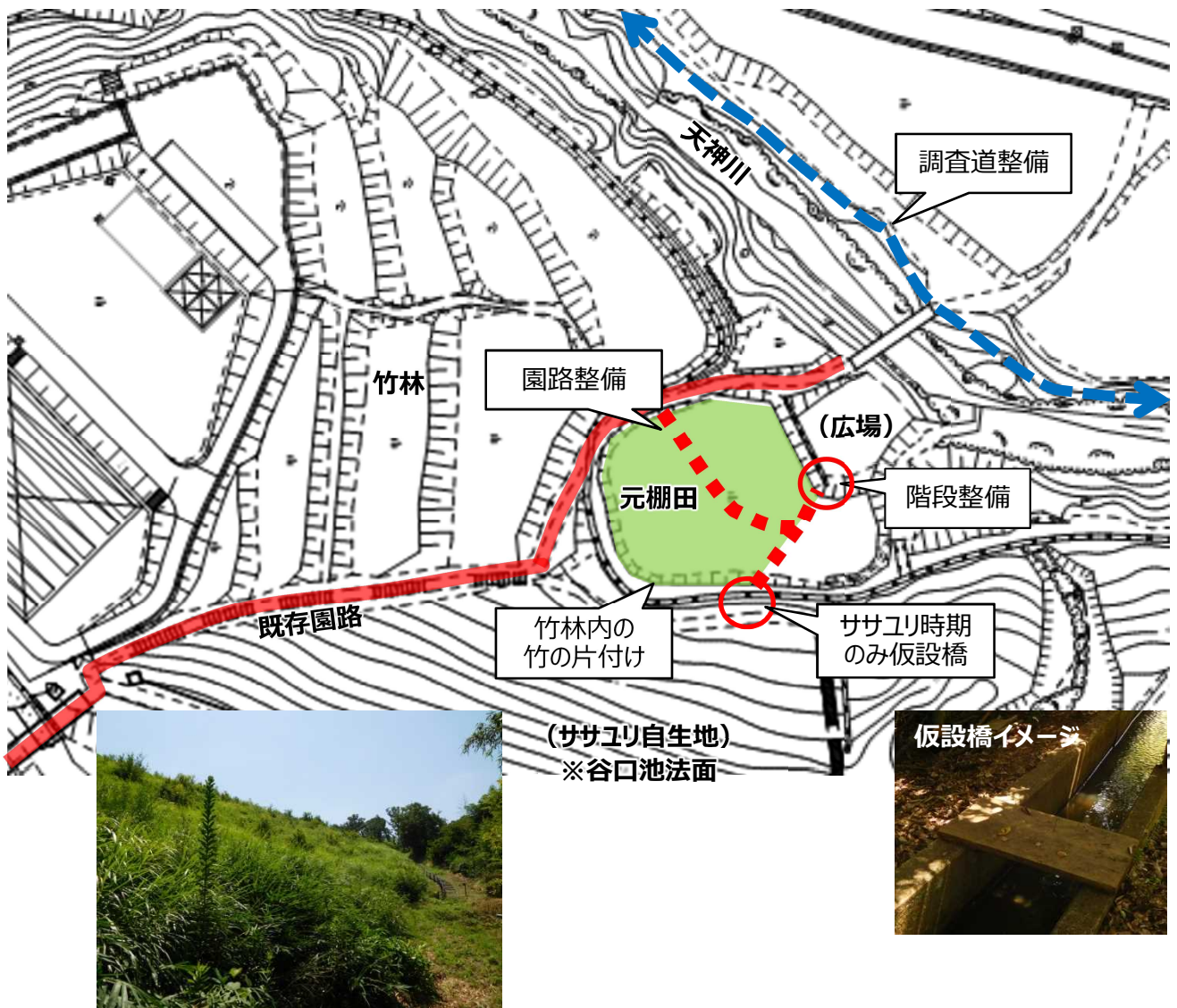


■整備計画（案）

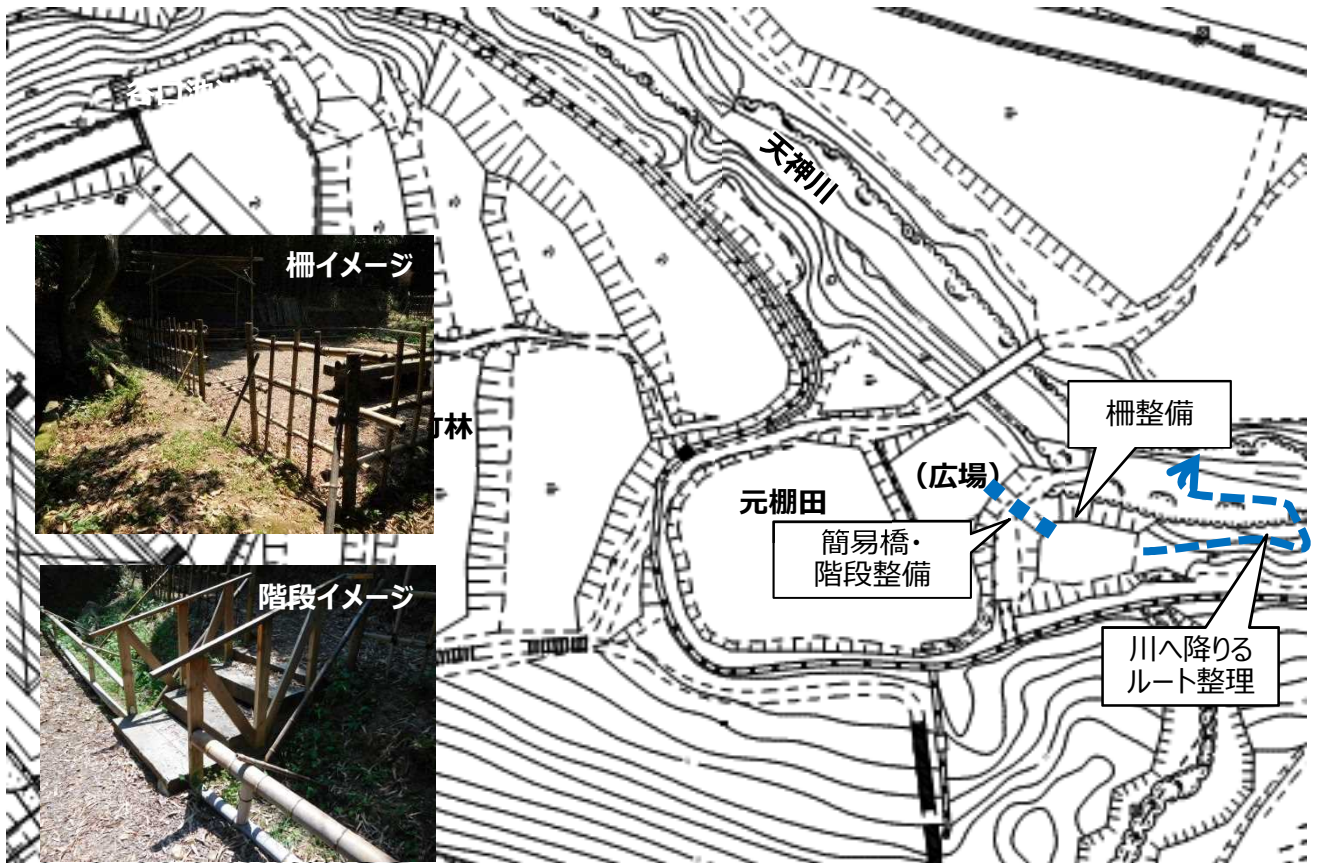
段階	第1段階	第2段階	第3段階
整備内容	①ゲンジボタルの調査道の整備 ※幅約60cm ※竹・草のみ伐採 ②元棚田～広場の園路整備 ※竹の整理も含む	○眺望ポイント～川に降りるルート の整備	○元棚田区域に土手を整備し、水路より水を入れる
ホタル調査	①ゲンジボタルの生息数の継続調査	○ゲンジボタルの幼虫・餌の生息数調査（プログラム展開で）	○ヘイケボタルの生息地の拡大について調査（ビオトープ池以外の生息地の確保）
利用	②ササユリ時期の園路使用（広場をお弁当の食事場所として使用）	○川の生き物調査プログラム等の実施（夏のプログラムイベントの充実。夏休みの自由研究）	

※天神川チーム活動もしくは府との協働作業により整備

【第1段階】



【第2段階】



【第3段階】

